

常 (目標・努力・発見)

令和2年6月23日
北方町立北方中学校
学校だより 第2号

中学校でがんばりたいこと

私たち1年生が北方中学校に入学し、1週間がたちました。私は、中学校に入学する前からとても楽しみにしていたことがあります。それは、小学校でやってきたクラブとは違う部活動。教科担任の先生に専門的に教えていただける勉強。そして、そこで待っている「新しい出会い」です。一日入学の授業見学のときに出会った「先輩方の姿」には、「さすが中学生だな。」そう感じる姿がたくさんありました。授業に集中して勉強に取り組んでいる意欲的な姿、仲間と練習し気持ちをそろえて美しい歌声で歌う合唱の姿など、どれも憧れる姿ばかりでした。きっと、そのような姿が生まれるまでに、仲間や先生方とたくさんの試練をのりこえてきた経験があるからこそ見せることのできる姿なのだと思います。



私が中学校で大切にしたいことは大きく二つあります。一つ目は、南小で大切にしていた4つのきり「あいさつ」「時間」「くるピタ」「だまって掃除」と「合唱」です。北方中学校にある「三本柱」と重なるものもあるので、それらを中学校生活でも生かしていきたいです。

二つ目は、仲間です。6年生の運動会の時に、私たちのクラスは、自分たちで声をかけあって自主的に昼休みにも練習をしていました。はじめはその練習に参加しない人がいましたが、クラスの仲間と話し合いをしていく中で、仲間が一人でも欠けたら意味がないことをみんなで学びました。その結果、最後は仲間全員で感動的な運動会になりました。だから、私は、中学校でもこの経験を生かしながら、仲間を大切にしていきたいです。



最後になりますが、私たちは入学したばかりで、知らないことが多いです。先輩方の姿から、たくさんのことを学ばせてください。よろしくお願いします。

1年生代表 堀 ことは

自分に今できることは何か

1年生の皆さん、ようこそ北方中学校へ。皆さんとこれからの学校生活を共に過ごしていけることにうれしく思います。

北方中学校では、あいさつ、掃除、合唱「3本柱」にこだわっています。ただ、3本柱だから頑張るのではなく、3本柱だと胸を張って言えるような本物の姿をつくるために、様々な活動に取り組んでいます。そのためにはそれをする事の本質、つまり本当の意味を考えることが大切です。「心を温める」あいさつ、「心を磨く」掃除、「心を動かす」合唱というように全ての皆さんの「心」につながっていきます。私は去年、合唱委員長という立場で合唱集会を行いました。その中で聴いた3年生の学年合唱は、技術的なうまさではなくて、本当に一人一人が一生懸命歌っており、3年生がここまで3年間頑張ってきた思いが伝わってきて、心から感動したことを覚えています。だからこそ、先輩方から受け継いできた北方中の伝統を自分たちも大切にしていきたいと思っています。全校の皆さんには、何事にも「やる事の本当の意味」を追求してほしいです。今年は、感染対策として全ての活動が実施できるわけではありません。しかし、その中で「できることから動いていく」ことが必要だと考えています。例えば、互いの距離を取りながらも積極的にあいさつを行ったり、仲間とのコミュニケーションを取ったりすることで「心の距離」は縮められると思います。

一斉登校が始まり新型コロナウイルスへの対策はこれまで以上に行う必要があります。これからもお互いに3密を避け、手洗いやマスクの着用、定期的な消毒など、万全な感染対策をしていきましょう。そしてこんな今だからこそ、北中全体で一丸となって、一人ひとりが「自分に今できることは何か」ということを考えて動いていきましょう。

生徒会長 鈴木 駿之介

自分たちで考え、実際に自主的に動き出している生徒の姿

こういった姿が広がっていくと良いですね。そのためにも、「自分に今できることは何か」ということを一人一人が考え、行動することです。これこそ、まさに「目標・努力・発見」を具現した姿だと思います。このような姿が広がっていくことを願っています。

